

新型コロナウイルス感染症と診断された患者さんへ

「新型コロナウイルス感染症診療における後ろ向き観察研究」にご協力をお願い申し上げます。

研究の目的

新型コロナウイルス感染症は、今なお世界中で感染が拡大しています。

これまでに、新型コロナウイルス感染症にかかった患者さんの 80%から 90%は、全く症状が表れない（無症候）か、軽い症状のみ（軽症）で自然に治ることがわかっています。重症となった患者さんには、専門的な治療を受けていただくことが必要となります。このように重症患者さんに適した治療を行うためには、重症化する患者さんの特徴をあらかじめ知っておくことが必要です。

そこで我々の研究グループでは、新型コロナウイルス感染症と診断された患者さんを対象とした後ろ向き観察研究を行っています。重症化した患者さんと無症候・軽症のまま治った患者さんとの間にみられる違いを明らかにして、重症化する患者さんの特徴を見つけ出します。研究成果は、新型コロナウイルス感染症の理解を深め、より良い診療にむすびつくことが期待されます。

研究の方法

新型コロナウイルス感染症と診断された患者さんを対象とします。重症化した患者さんと、無症候・軽症のまま治った患者さんとの 2 グループに分けます。カルテのデータを後ろ向きに調査し、特徴を同定します。個人が特定できないように収集されたデータを解析し、学会発表や学術論文誌に公表されます。

予想される患者さんの利益と不利益

本研究からは、患者さんそれぞれに直接的な利益はもたらされません。しかし、同じように新型コロナウイルス感染症と診断された多数の患者さんから得られる結果を解析することにより、より良い診療にむすびつくことが期待されます。

また、本研究にご協力いただくことによる不利益はありません。この研究の成果によって特許権など知的財産権が発生した場合、その権利は研究機関や研究遂行者に帰属します。

プライバシーの保護

収集されるデータは、各施設の個人情報管理者により連結可能匿名化されます。この匿名化により、個人が特定されない状態で解析が行われます。個人情報は、個人情報管理者により厳重に管理されるため、外部に漏れることはありません。

研究不参加の申し出

本研究に不参加を希望される方は、直接担当医もしくは下記研究責任医師に申し出てください。

不参加を希望される方の、データは本研究に利用されることはありません。

連絡先

本研究に関するご質問などございましたら、下記までご連絡ください。

福井県済生会病院

内科 白崎 浩樹

〒918-8503 福井市和田中町舟橋 7-1

電話:0776-23-1111(代表)